

取引のリスク

「くりっく365」には、主に以下のリスクが存在します。投資を行う際にはこれらのリスク及び「くりっく365」取扱会社より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分理解した上で、ご自身の判断でお取引を行うようにしてください。なお、以下に掲げるリスクは、「くりっく365」での取引に生じる全てのリスクを示すものではありません。

価格変動リスク

取引対象である通貨の価格の変動により損失が生じることがあります。さらに、取引金額がその取引について顧客が預託すべき証拠金の額に比して大きいため、相場の状況によっては差し入れた証拠金以上の損失が発生する可能性があります。

コンバージョンリスク

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく、円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります(コンバージョンリスク)。

金利変動リスク

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、または支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずに、スワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

流動性リスク

「くりっく365」では、マーケットメイカーが買呼び値及び売呼び値を提示し、それに対して投資家がヒットをして取引が成立する方式を取っています。そのため、状況(天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等)によって、マーケットメイカーによる買呼び値や売呼び値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、投資家にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

信用リスク

「くりっく365」においては、投資家の取引を受託する「くりっく365」取扱会社に対し金融取が取引の相手方となる「清算制度」を導入しており、投資家の証拠金は、全額金融取が分別管理しているため、原則として全て保全されます。しかし、「くりっく365」取扱会社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、取扱会社が破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他の不測の損失を被る可能性があります。

システム障害リスク

金融取及び「くりっく365」取扱会社のシステム、または投資家、取扱会社、金融取の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合等には、相場情報等の配信、注文発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失を被る可能性があります。

税制・法律等の変更リスク

税制・法律またはその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。



株式会社 東京金融取引所

東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング 15階

TEL 03-4578-2400 URL <http://www.click365.jp/>

FAX 03-3212-5780 E-mail info@tfx.co.jp



は・じ・め・て・の・FX!
まずはココから!

FX取引 入門ガイド

取引所 FX

株式会社 東京金融取引所



金融取

FXってどんな取引?

FXとは、“Foreign eXchange(外国為替)”の略で、下記の2つの特長をもつ「外国為替取引」です(※)。



受け払いするのは差額だけ!

詳しくは、9・10ページへ

特長1

(例)1万ドルを1ドル=90円のときに買い、1ドル=91円のときに売った場合
通常の為替取引: 90万円支払って1万ドルを受け取り、1万ドルを支払い91万円受け取ります。
FX取引 : 差額の1万円のみ受け取ります。

特長2

少額の資金で取引できる!

詳しくは、3ページへ

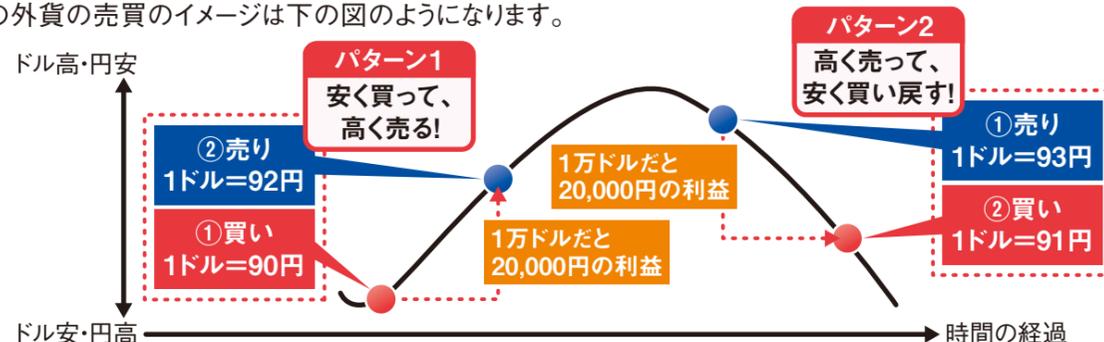
差金決済なので、最初に必要となる証拠金も少額(最小で取引額の1/25程度)で済みます。

※ ここでは説明を簡単にするため、「投資効果」の観点から、できるだけ外国為替取引になぞらえて、FX取引のイメージを説明しています。FX取引の「契約構成」に則った説明は、10ページ以降をご覧ください。

取引所FX **くりっ365** は公的な取引所「東京金融取引所(略称:金融取)」が取扱会社を通じてご提供している「安心」「透明」「信頼」のFXの統一ブランドです。

FXの取引イメージ(ドルを売買する場合)

FXでの外貨の売買のイメージは下の図のようになります。



特長3

買いからも売りからも取引が始められる!

詳しくは、13ページへ

為替相場の上昇・下落に関係なく、どのような場面でも利益が狙えます。

※ 為替相場が予想に反した方向に動いた場合には、損失を被るリスクがあります。

買気配と売気配ってなに?

それでは次に、実際のFXの取引画面を見てみることにしましょう。

取引所FX「くりっ365」の取引画面

商品	買数量	買気配	売気配	売数量
米ドル/円	500	98.460	98.480	700
ユーロ/円	250	134.045	134.080	550
豪ドル/円	300	94.750	94.780	600

(画面上の数値は実際のものではありません。取引画面の構成は取扱会社によって異なります。)

上図の枠で囲った部分は、

「投資家が、米ドルを98.460円で500枚まで売ることができ、98.480円で700枚まで買うことができる」ということを示しています。

(買数量・売数量の単位は「枚」であり、「くりっ365」ではドル/円の場合、1枚当たり1万ドルです(※1)。)

つまり、買気配(かいけはい)とは為替市場における(価格提示者の)買値であり、売気配(うりけはい)とは為替市場における(価格提示者の)売値を意味します。この買気配・売気配は、時々刻々と変化します。

買気配 = 為替市場における買値 = 投資家が売れる価格

売気配 = 為替市場における売値 = 投資家が買える価格

◆ 買気配はBid(ビッド)、売気配はAsk(アスク)またはOffer(オファー)、ということもあります。

くりっ365 では、

その1

買気配・売気配は、為替市場で取引をしている複数の大手金融機関(マーケットメイカーといひます)の提示価格のうち、その時点において投資家に最も有利な価格を表示しています。

詳しくは、7ページへ

その2

どんな価格でどれくらいの量の取引が可能かをリアルタイムで表示しています。豊富な流動性を提供できるのは、複数のマーケットメイカーがサポートしている「くりっ365」ならではの!(※2)

その3

スマホアプリ「取引所365」では、無料で①23通貨ペアの相場情報(買気配・売気配・出来高等)、②豊富なチャート(お好みで様々な設定が可能)、③金融取からのお知らせ、④株式会社フィスコ社提供の最新ニュース、⑤メール通知サービスをご利用いただけます。

詳しくは、14ページへ

まずは、無料スマホアプリで相場の動きを見てみましょう!



※1 1枚当たりの取引単位は通貨ペアによって異なります。

詳しくは、14ページ記載の「くりっ365」公式ホームページをご覧ください。

※2 流動性は市場環境により異なります。詳しくは、本ガイド裏面の「流動性リスク」をご覧ください。

FXってどんなメリットがあるの？

FX取引のイメージはつかめたでしょうか？ つづいて、FXの主なメリットをご紹介します。
投資資金、取引コスト、取引時間、金利の4つの点からみてみましょう。

メリットその① 投資資金の25倍まで取引できる!(レバレッジ効果)

FXは差金決済(※1ページ)なので、多額の外貨を売買する場合でも、投資資金として預託する「証拠金」は、少額で済みます。具体的には、「証拠金」は、**最小のケースで、取引する金額の1/25**です。逆に言えば、FXでは、**最大で、証拠金の25倍もの金額を取引することができる**のです。これを、小さな力で大きなものを動かす「てこ(=レバレッジ)」に見立てて、「**レバレッジ効果**」といいます。

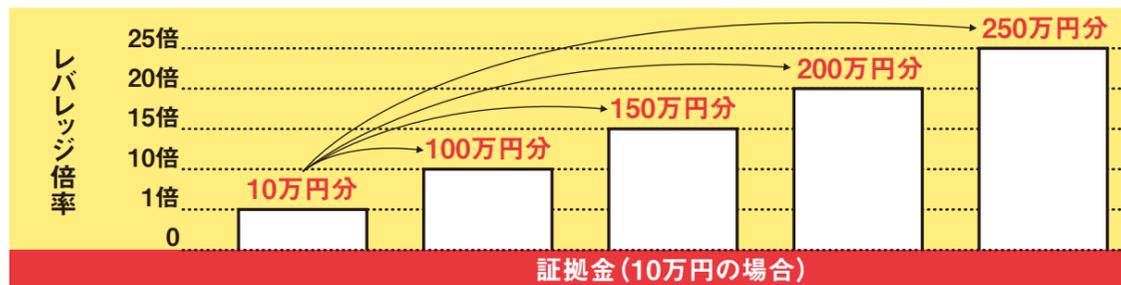
例えば、証拠金として10万円を預けると、最大で250万円分の外貨を取引することができます。取引する金額は250万円分の外貨ですから、その取引で得られる利益(損失)は10万円分の外貨を取引した場合に得られる額の25倍になります。

つまり、FXとは、レバレッジ効果により、**少額の資金で多額の利益を期待できる資金効率の良い取引**といえるのです。

ただし、相場が期待した方向と逆の方向に動くと、レバレッジ効果によって、**損失も大きくなる**点には注意が必要です。特に、相場の急変時などには、**多額の利益(損失)が発生する**場合があります。**多額の損失を避けたい場合には、レバレッジを1倍～数倍にして取引**することができます。

このように、FXは、投資家の皆様が、**相場状況によってどの程度のリスク・利益を求め**るかに応じて、レバレッジを変えることが可能です。

証拠金の額×レバレッジ＝取引できる外貨の額



1ドル=100円のとときに、100万円の証拠金でドルを買い、1ドル=101円のとときにドルを売った場合

証拠金	100万円	100万円	100万円
レバレッジ	1倍	10倍	25倍
運用できる金額	1万ドル(100万円分)	10万ドル(1,000万円分)	25万ドル(2,500万円分)
利益(※)	1万円	10万円	25万円

※ 1ドル=99円のとときにドルを売った場合は損失になります。

メリットその② 外貨預金より取引コストが断然有利!

FXで高金利通貨を長期保有すると、その通貨の金利や保有期間に応じた、外貨運用益が得られます。このFXに類似した投資効果が得られる金融商品に、外貨預金があります。(※詳しくは11・12ページをご覧ください。)

外貨預金とは、円貨を払って外貨を買い、その外貨を預金として運用した後、期日に払い出した外貨を売って円貨にかえる金融商品です。外貨預金の場合、最初に円貨で外貨を買うときと、外貨を売るときに取引2回(往復)分、取引コストとして「**為替手数料**」が必要となります。

例えば、**ドル建ての外貨預金**で、為替手数料が1ドルにつき1円(※1)かかるとうると、往復では2円かかります。この場合、1万ドル預金すると、取引コストとして、2円×10,000ドル=20,000円かかることになるのです。

一方、**FXの取引コスト = 「取引手数料」 + 「買気配と売気配の差(=スプレッド)**です。

「くりっく365」をインターネットでお取引する場合の取引手数料は、0円の場合が多いです(※2)。また、ドル/円のスプレッドは0.5銭(0.005円)刻みです。例えば、スプレッド2.0(0.02円)銭で(※3)、1枚(1万ドル)売買すると、取引コストは0.02円×10,000ドル=200円程度になります。

上記の例では、FX「くりっく365」の取引コストはトータルで200円程度であり、外貨預金と比べると**1/100程度**なのです。このように、FXは取引コストの面で外貨預金よりも断然有利な取引といえます。

①1万ドルを外貨預金する場合(為替手数料1円のケース)



②1万ドルをFX「くりっく365」で取引する場合(取引手数料0円のケース)



※1 為替手数料は、銀行によって、また、預入金額等の条件によって異なります。

※2 「くりっく365」の取引手数料は取扱会社や月間取引枚数等によって異なります。

※3 スプレッド(及び刻み幅)は通貨によって、また、市場の状況によって異なります。

メリットその③ ほぼ24時間取引できる!祝日だって取引可能!

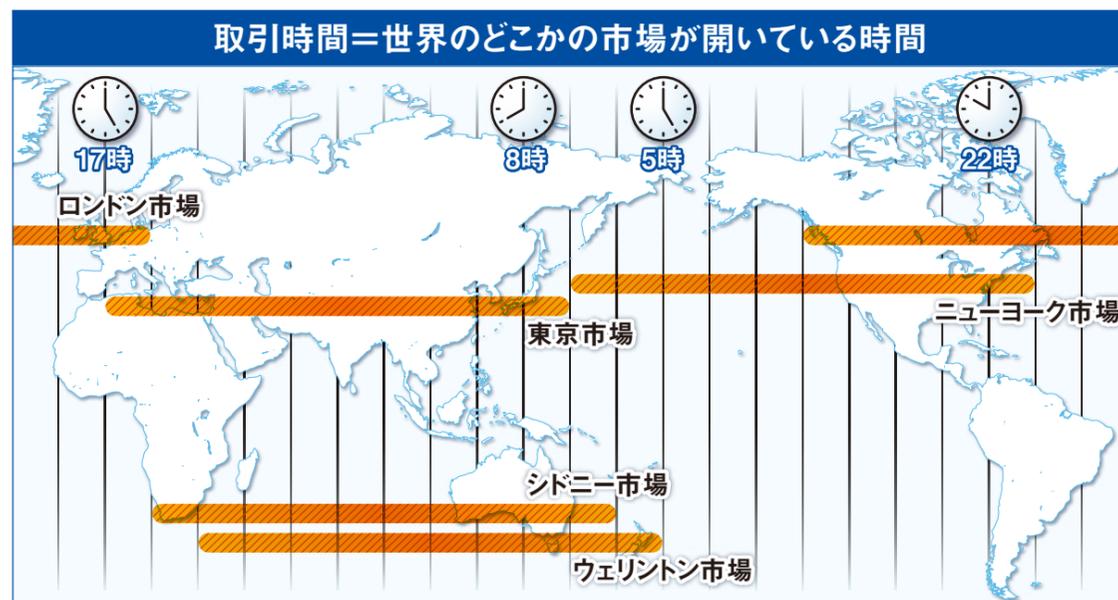
外国為替取引は、日本に限らず世界中の市場で行われています。

東京市場で取引が終わる夕方には、ロンドン市場など欧州での取引が開始され、その後はニューヨーク市場、シドニー市場などで取引が行われ、翌日の東京市場の取引が始まるといった具合です。

このため、FXでは、日本の祝日に関係なく、土・日曜日と元旦を除いたほぼ毎日、ほぼ24時間取引することができます(※)。

日中は忙しくて相場をチェックできないという方は、夜の落ち着いた時間を選んで取引することができるというわけです。

このように、FXでは、時間を気にせず自分のライフスタイルに合わせた取引を行うことができます。



◆ 図中の表示は日本時間です。東京以外の市場では、サマータイム実施期間中の稼働時間は1時間早まります。

※ 臨時に、取引時間が変更される場合や休業日が定められる場合があります。

メリットその④ 通貨の金利差分の相当額(スワップポイント)を受け取れる

FXは異なる通貨を売買しますが、通貨によって金利は異なります。

高金利通貨を一定期間保有すると、その通貨間の金利差と保有期間に応じた運用益が得られますが、この運用益の1日当たりの金額を「スワップポイント」といいます(※)。

(※ 詳しくは12ページをご覧ください。)

スワップポイントは、外貨預金を行う場合の「利息」に相当するものです。

スワップポイントは、高金利通貨を買い、翌営業日まで保有することで受け取ることができます。これは、高金利通貨を売るまで、日々受け取ることができます。

このように、FXでは、売買を繰り返すことで為替差益を追求するだけでなく、スワップポイントをコツコツ積み立てていく長期運用にも活用できるのです。

逆に、高金利通貨を売った場合には、買い戻すまでの期間、スワップポイントの支払いが必要になります。

例えば、オーストラリアドル(豪ドル)の金利が3.0%(年率)、円の金利が0.1%(年率)だとすると…



1豪ドル=95円のと看、1万豪ドルを買った場合、1日当たりで受け取れるスワップポイントは、
 $95円 \times 10,000豪ドル \times 0.029(2.9\%) \div 365日 = 約75円$
 6ヵ月間、豪ドルを保有すると、約75円×180日(6ヵ月) = **約13,500円!**



為替変動がないと仮定すると、高金利通貨を買って投資したときのネット収益は、金利収益から、外貨預金の為替手数料やFXの取引コストを差し引いた金額となります。4ページでご説明のとおり、FXの取引コストは外貨預金の為替手数料に比べ格段に安く、ネット収益確保に有利です。為替変動がある場合でも、その影響はFX取引も外貨預金も共通していますので、外貨預金よりFX取引のほうが運用上有利といえます。

※ スワップポイントは各通貨の金利情勢によって日々変動します。また、一部通貨については、金利情勢によらず、需給関係等により、スワップポイントが変動する場合があります。詳しくは、本ガイド裏面の「金利変動リスク」をご覧ください。

**くりっく365は
顧客口座数・証拠金残高、**

日本一!

※店頭(矢野経済研究所調べ)を含む為替証拠金市場全体の比較

多くのお客様に支持されているのは、「くりっく365」には次のような魅力があるからなんです!
(詳しくは、「くりっく365」公式ホームページ(☎14ページ)を併せてご覧ください。)

魅力その① 透明な価格提供の仕組み

透明

くりっく365 は、外国為替市場における複数の主要金融機関(マーケットメイカー)から価格の提供を受け、この中から、その時点において最も有利となる価格をシステムで自動的に合成し、そのままの価格を取扱会社を通じて投資家の皆様に提示しています(※1)。

価格提示の具体的なイメージ

(例)「くりっく365」におけるレート提示

マーケットメイカー	買気配	売気配	スプレッド
A社	98.455	98.480	2.5銭
B社	98.455	98.485	3.0銭
E社	98.460	98.495	3.5銭
F社	98.460	98.490	3.0銭

「くりっく365」提示レート(合成後)		
買気配	売気配	スプレッド
98.460	98.480	2.0銭

※1 レート提示を行うマーケットメイカーの数は通貨ペアによって異なります。

魅力その② スワップポイントは受取額と支払額が同額!

透明

店頭FXでは、スワップポイントの受取額より支払額を大きく設定している場合があります。一方、**くりっく365**では、金融取も取扱会社もスワップポイントから支払額と受取額の差益を得ない仕組みを採用し、受取額と支払額を同額(一本値)に設定しています(※2)。

「くりっく365」と店頭FXのスワップポイントのイメージ

「くりっく365」	受取額 100円 = 支払額 100円	「店頭FX」	受取額 100円 < 支払額 105円
-----------	---------------------	--------	---------------------

※2 「くりっく365」のスワップポイントについては、全ての店頭FXと比較し、常に受取額が多い、または支払額が少ないということではありません。

魅力その③ 取扱会社を厳選!

信頼

くりっく365 を取り扱うことができるのは、法令等の基準に加え、金融取の規則に基づく厳格な資格要件を満たした会社だけです。

さらに、取扱会社となった後も、金融取の自主規制部門が取扱会社をモニタリングしています。「くりっく365」では、信頼度の高い取扱会社で取引していただくことができます。

	取扱会社資格要件(一例)	金融商品取引業者要件(一例)
資本金	3億円以上	5,000万円
純資産	20億円以上	—
自己資本規制比率	200%以上	120%

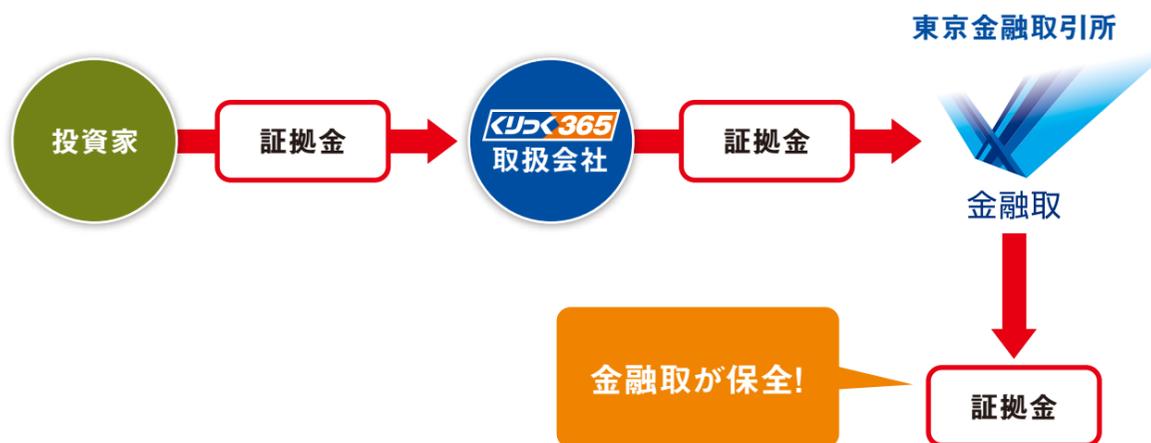
魅力その④ 証拠金は全額金融取へ!

安心

くりっく365 の取扱会社は、法令により、投資家の皆様からお預かりした証拠金の全額を、金融取に預託することが義務付けられています。

預託された証拠金は全額金融取が保管しており、取扱会社が万一破綻したような場合でも、皆様の証拠金は原則として、保全される仕組みになっています。

証拠金の流れ



① 外貨の売買とはどう違うの？



FXは“Foreign eXchange(外国為替/外貨の売買)”の略です。
FX取引は、外国為替取引の取引形態の一つで、
証拠金を預けて行う「外国為替証拠金取引」を指します。

お取引のケース

通常の外貨の売買との違いをみてみましょう。例えば、ある投資家がX月1日に1万ドルを1ドル＝90円で買い、X月10日に1万ドルを1ドル＝91円で売った場合を考えます。

外貨の売買の場合は…

- ◆ 外貨を購入すると、1万ドルという多額の外貨を受け取る一方、購入代金として90万円という多額の資金を用意しなければなりません。
この時支払った円貨と、後日、外貨を売却したときに受取った円貨の差が損益となります。

外貨の購入時 ここでは取引相手を銀行としましょう。



外貨の売却時



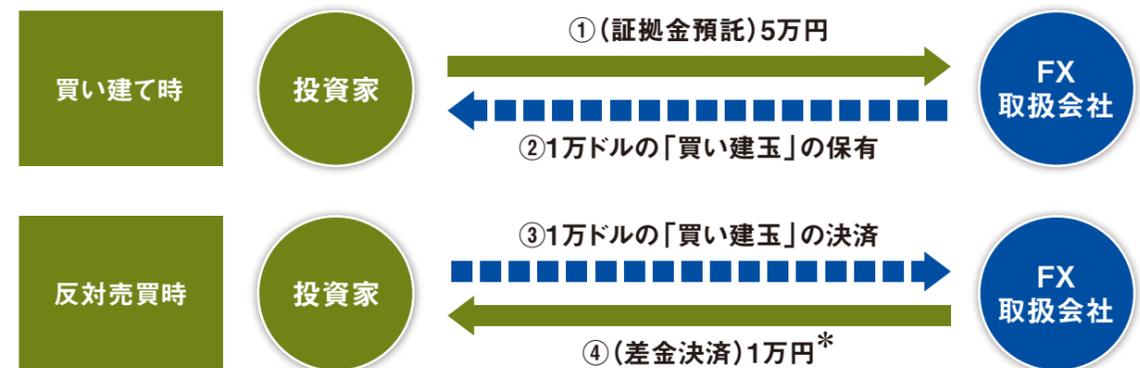
* 2つの資金決済の結果、投資家の手元には1万円の利益が残ります。

～差金決済ってなに？～

FX取引の場合は…

- ◆ FXでは、新規に外貨を買う(売る)取引をした後、その買った外貨を売る(売った外貨を買い戻す)「反対売買」を行うことで損益が確定します。
- ◆ 新規の取引では、「現金としての外貨」を買う(売る)わけではなく、「外貨を買った(売った)という契約関係」が発生するだけで、資金の受け払いは行いません。この資金決済を行っていない状態の契約関係を「**建玉(たてぎょく)**」といい、新規に外貨を買う(売る)取引を「**買い建玉(売り建玉)を建てる**」と呼びます。資金の受け渡しをしない代わりに、この契約の履行を保証するため、取引前に**証拠金**を預けることが必要になります。
- ◆ 保有した建玉は、反対売買によって閉じなければなりません。これを「**買い建玉(売り建玉)を決済する**」といいます。建玉を決済したときに、円の受払差額のみ資金決済します。このような決済方法を「**差金決済**」といいます。
- ◆ 9ページの「お取引のケース」では、取引前に、①少なくとも1万ドルの購入代金90万円の1/25程度、例えば5万円の証拠金を預けます。そして、②1万ドルを買い建て、「買い建玉」を保有します。その後、③反対売買で買い建玉を決済し、④決済時の1万ドルの対価91万円と買い建て時の対価90万円の差額である1万円を受け取るというわけです。
- ◆ このように、FX取引は**差金決済**と**証拠金制度**により、小さな資金で大きな投資効果(これを「**レバレッジ効果**」といいます。☞3ページ)を上げることができる取引なのです。

ここでは取引相手をFX取扱会社としましょう。



* 差金の1万円は証拠金口座に入金され、証拠金が6万円になります。
他に保有する建玉がなければこれを払い出すことができます。

もっと知りたい方へ!

- ◆ 購入時に90円だったドルの価値が、売却しようとした時に89円に下がっていた場合はどうでしょうか。このときに買い建玉を決済すると1万円を支払わなければなりません。⇒証拠金から差し引かれます。
- ◆ あるいはドルの価値が再びあがるのを期待して、このときには決済しないで、しばらく様子を見たいという場合もあるでしょう。⇒建玉の保有についての期限はありません。
このように、90円で買った1万ドルの買い建玉を決済するまで、為替相場の変動によって、建玉の含み損益は増減します。⇒為替変動リスクがあります。
- ◆ 含み損がそのまま建玉が決済されないと困りますので、これを履行する担保という意味で、投資家は必要金額を証拠金として預けることが求められます。⇒必要となる証拠金は建玉や含み損益に応じて変わります。



「**証拠金**」は**取引の健全性**を維持するために必要なものなのです。



銀行で外貨預金をするということは、外貨を購入してそれをそのまま銀行に預金として預けることを意味します。オーストラリアドルやニュージーランドドルなど、高金利通貨の外貨定期預金が利用されています。



ここでは、FXで「(外貨の)買い建玉」を長期間保有すると、外貨預金と同じような投資効果が得られることを説明します。

お取引のケース

1オーストラリアドル(以下、「豪ドル」といいます)が95円の時に、3ヵ月ものの豪ドル建て外貨定期預金で1万豪ドルを預入する場合と、FXで1万豪ドルを3ヵ月間保有する場合を比べてみましょう。3ヵ月もの外貨定期預金の金利は2.4%(年率)とします。なお、ここでは為替変動の影響を考えず、満期日の為替相場も1豪ドル=95円と仮定します。また、為替手数料も考えないこととします。

外貨預金の場合...

- ◆ 外貨預金をするということは、円貨を払って外貨を買い、これを元本に一定期間外貨で運用した後、元本と利息の合計分の外貨を売却して円貨を受取ることを意味します。9ページの外貨の売買と基本的には同じですが、購入から売却までの期間が長いので、運用益が発生するところが異なります。
- ◆ ここでは為替変動がないと仮定しましたが、実際には為替相場の差異の分だけ受取る円貨が増減します。

外貨預金預入時 ここでは取引相手を銀行としましょう。



参考 利息の計算方法 $10,000 \text{豪ドル} \times 2.4\% \times 3/12 = 60 \text{豪ドル}$

外貨預金払出時

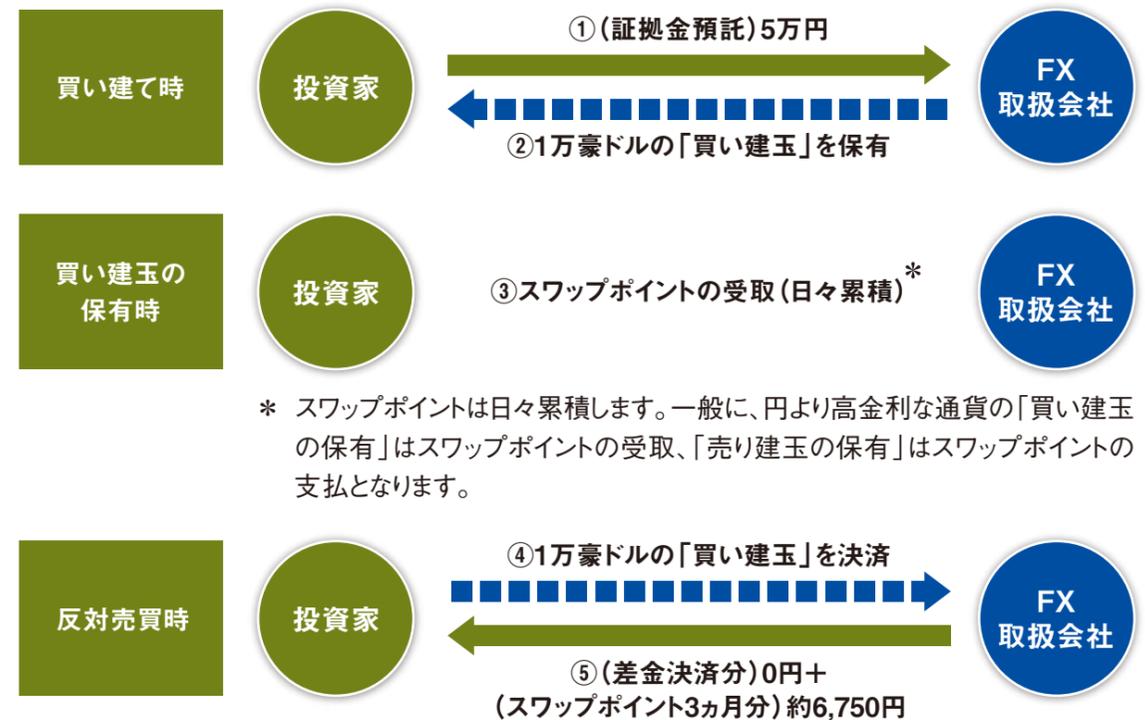


* 実際の事務としては、①の円貨を預けて、⑥の円貨を受取るので②③④⑤の外貨の受払いは計算上のみのものとなります。

FX取引の場合は...

- ◆ FXでは、新規取引により建玉を保有した後、反対売買により決済を行うまで、自動的に建玉が繰り延べられる仕組みになっています。これを「ロールオーバー」といいます。
- ◆ FXでは、建玉をロールオーバーするごとに、通貨ペア間の金利差に相当する金額が受け払いされます。この日々の金利差に相当する金額が「スワップポイント」であり、基本的に、高金利通貨の買い建玉を翌営業日まで保有することで、1日分のスワップポイントを受け取ることができます(※1)。このスワップポイントが外貨預金の「利息」に相当するものです。
- ◆ 11ページの「お取引のケース」について、FXでは、まず、①必要証拠金額(例えば5万円)を預けて、②1万豪ドルを買い建て、「買い建玉」を保有します。そして、③買い建玉を3ヵ月間保有することで、スワップポイントが3ヵ月分累積します。3ヵ月後、④反対売買で買い建玉を決済し、⑤「買い建て時と決済時の為替相場の変動分」と「3ヵ月分のスワップポイント」を清算します。
- ◆ 為替変動がないと仮定すれば、証拠金残高が当初よりスワップポイント分(3ヵ月分)だけ増えていますので、これを払出すと外貨預金の利息に相当する金額が得られます(※2)。

ここでは取引相手をFX取扱会社としましょう。



* スワップポイントは日々累積します。一般に、円より高金利な通貨の「買い建玉の保有」はスワップポイントの受取、「売り建玉の保有」はスワップポイントの支払となります。

参考 スワップポイントの計算方法

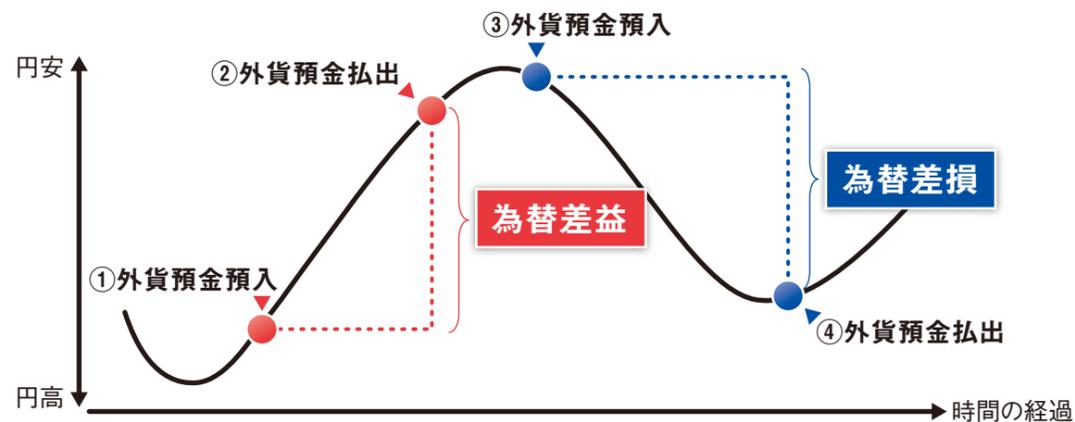
(豪ドルの金利を3.0%、円の金利を0.1%とした場合 6ページ)
1日分のスワップポイント約75円×90日(3ヵ月) = 約6,750円

- ※1 スワップポイントは各通貨の金利情勢によって日々変動します。また、一部通貨については、金利情勢によらず、需給関係等により、スワップポイントが変動する場合があります。詳しくは、本ガイド裏面の「金利変動リスク」をご覧ください。
- ※2 実際には為替変動に基づく為替差益(損)により、必要とされる証拠金残高が増減します。長期間運用する場合には、為替変動によって途中で証拠金不足にならないよう、余裕をもって証拠金を積んでおく必要があります。

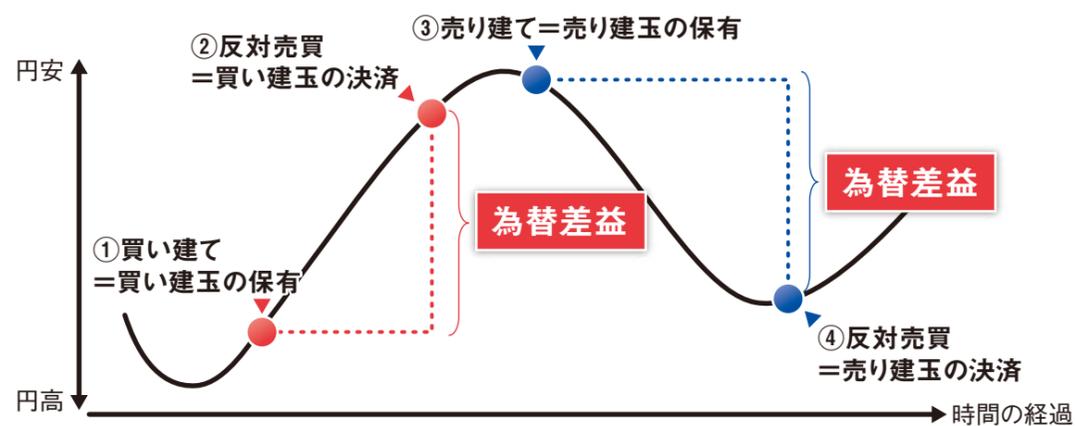
もっと知りたい方へ！

- ◆ 外貨預金では為替リスクはどう影響するの？
11ページのケースで、預入時に95円だった豪ドルの価値が払出時に94円に下がっていた場合は、⑥の売却代金が95万5700円(1万60豪ドル×95円)ではなく、94万5640円(1万60豪ドル×94円)となり、当初預け入れた95万円より4360円分減少してしまいます。
- ⇒ つまり、高金利通貨で運用して利息を得ても、為替差損によってはマイナスとなってしまうことがあります。高金利通貨運用では「外貨買い」に伴う円高リスクをどう回避するかが重要です。預入時より払出時が円安になった場合は、「為替差益+高金利による利息」が得られます。
- ◆ FXでは「外貨売り」もできる！
買い建玉を建てる(買い建て)だけでなく、売り建玉を建てること(売り建て)もできるのがFXの特長です。為替相場が円高に推移しそうな場合でも、FXで「(外貨の)売り建玉」を保有すれば、為替差益を得ることができます。

外貨預金の場合



FX取引の場合



※ ③の時点よりも円安の水準で売り建玉を決済すると、為替差損が生じます。

様々な情報提供ツールをご用意！

東京金融取引所が提供する、取引所FX「クリック365」では、ホームページ、ツイッター、スマートフォンアプリ(無料)で様々な、商品情報・投資情報を提供しています。お取引を始める際に、ぜひご覧ください。

「クリック365」公式ホームページ



<http://www.click365.jp/>

スマートフォンアプリ『取引所365』



東京金融取引所公式ツイッター



@tfx_pr

iPhone

App Storeから「取引所365」で検索してください。

Android

Google Playから「取引所365」で検索してください。

利用ガイド

http://www.click365.jp/sp/tx365_ap.shtml

実際にお取引を始めるには？

「クリック365」取扱会社にご連絡ください。

「クリック365」取扱会社一覧及び連絡先等の情報につきましては、下記「クリック365」公式ホームページで公表していますので、ご参照ください。

<http://www.click365.jp/>

「クリック365」公式ホームページのトップ画面に、取扱会社一覧を掲載しています。



(2013年10月末現在)

本パンフレットの著作権は、東京金融取引所(金融取)にあります。

本パンフレットは、金融取が外国為替証拠金取引の説明のために作成したもので、取引の勧誘等を目的とするものではありません。また、法令等により取扱会社が投資家の皆様へ開示すべき全ての事項を含むものではありません。本パンフレットの内容については、正確を期すように努めておりますが、何らかの齟齬があった場合には金融取の規則が優先されます。